



ワインボトルのラベル貼りに取り組む学生

ひるぜんワインと酪農

若者の視点で 改善策提案へ

山陽学園大生が実務体験

山陽学園大(岡山市)でいる。若者の視点で中区平井)地域マネジ事業の課題や特長を見メント学部の学生が、つけ、本年度中に改善

真庭市蒜山地域にある策やPR方法を提案す「ひるぜんワイン」とるという。

蒜山酪農農業協同組合 3年生6人が3人ずつで、ブドウ栽培や酪農 つに分かれ、8月20日などの実習に取り組ん から9月6日まで滞

在。ひるぜんワインではブドウ畑での農作業やボトルのラベル貼り、接客をこなす。

・真庭観光局で活動を客といった魅力をイン

蒜山酪農では牛舎での餌やりやレストラン

ひるぜんワインで実習する森本真緒理さん(21)は「栽培から加工案を考えている」と話

ンでのサラダの盛り付けなどを体験している。

までこだわったワインした。(中村啄也)

同大の実習は7月以降、県内各地で行われ

ており、真庭市では8月に、今回とは別の学

生たちが一般社団法人